

別紙 2

「群馬県森林・林業基本計画 2021-2030 中間見直し（案）」に関する意見の採択により改正した箇所

修正箇所 1 P18

修正前

取組 2 建築物の木造化に取り組むものへの県産木材利用促進支援

修正後

取組 2 建築物の木造化に取り組む者への県産木材利用促進支援

修正箇所 2 P18

修正前

取組 3 林業試験場による JAS 標章付き試験証明材の供給

◇非住宅建築物の木造化を進める上で、品質・強度の明確な JAS 製材品の供給体制の強化に取り組みます。

修正後

取組 3 品質・強度の明確な JAS 製材品の供給体制の強化

◇非住宅建築物の木造化を進めるため、機械等級区分などの JAS 認証取得促進に取り組む。

修正箇所 3 P34

修正前

◇合法性、持続可能性が証明された木材・木製品（合法木材）を利用することの重要性について木材関係事業者や県民等に向けて普及啓発し、合法木材のより一層の流通及び利用促進を図ります。

修正後

◇グリーンウッド法の周知等、合法性、持続可能性が証明された木材・木製品（合法伐採木材等）を利用することの重要性について木材関係事業者や県民等に向けて普及啓発し、合法木材のより一層の流通及び利用促進を図ります。

修正箇所 4 P37

修正前

◇高性能林業機械等の規格・性能やデジタル化に対応した路網の整備を進める必要があります。

修正後

◇主伐による木材供給量の増加と高性能林業機械等の規格・性能・デジタル技術の導入に対応した路網整備が求められています。

修正箇所 5 P38

修正前

将来ビジョン

◇森林資源情報の高度化により、地理的条件や森林の特性に応じた森林のゾーニングが行われ、それぞれの特性に応じた森林の経営管理が進められています。

取組の方向性

◇森林のゾーニングを導入し、事業内容の大幅な見直しを行い地理的条件や森林の特性に応じた施業へ誘導します。

修正後

将来ビジョン

◇地理的条件や森林の特性に応じた森林のゾーニングにより、効果的な森林の経営管理が行われ、利用と保全のバランスを保ちながら、「収益性の高い新しい林業」と「森林の新たな価値の創出」が実現し、森林の価値が高まっています。

取組の方向性

◇森林ゾーニングを導入し、地域の実情を踏まえた上で、短期循環林の市町村森林整備計画の「特に効率的な施業が可能な森林の区域」の設定や、高密度な路網整備、環境保全林の公的森林整備の実施等、地理的条件や森林の特性に応じた事業内容の大幅な見直しを行い、利用と保全の両立した効果的な森林の経営管理へ誘導します。

修正箇所 6 P38

修正前

記載なし

修正後

◇主伐による木材供給量が増加することで、大型トラック（10t 積み）等が走行できる林道整備を推進します。

修正箇所 7 P50

修正前

将来ビジョン

◇雇用条件や現場環境の整備により、女性が働きやすい環境が整っています。

修正後

将来ビジョン

◇雇用条件や現場環境の整備により、女性や高齢者など、多様な人材が働きやすい環境が整っています。

修正箇所 8 P52

修正前

記載なし

修正後

◇女性や高齢者など、多様な人材が働きやすい職場環境の整備やハラスメント対策の取組を支援します。

修正箇所 9 P52

修正前

◇技能検定制度による資格取得を推進し、林業従事者のキャリア形成を支援します。

修正後

◇技能検定制度などによる資格取得を推進し、林業従事者のキャリア形成を支援します。

修正箇所 10 P67

修正前

記載なし

修正後

◇災害適応力の維持には、地域の実情に精通した建設産業の持続的な発展が重要ですが、就業者の減少や高齢化により、担い手不足が課題となっています。

修正箇所 11 P68

修正前

記載なし

修正後

取組の方向性

◇公共工事の担い手確保に向けた、「働き方改革」、「生産性向上」を推進することにより、適応力を維持します。

具体的施策

(働き方改革、生産性向上の推進)

◇週休2日やキャリアアップシステムの促進など、働き方改革に取り組みます。

◇現場の生産性向上を図るため、ICT 施工・3次元データ活用等を推進します。